学校番号	１００７

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	美術Ⅲ						
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の意図を大切に作品制作し、各々の個性に合った表現を模索し、掘り下げます。自分に身近なところからの発想を大切にし、ゆっくり時間をかけて一つの作品を作り上げる過程で、工夫を重ね自分らしい表現を深めましょう。新しい知識や技術の習得によって表現の幅を広げましょう。
作品の制作、展示、発表などを通して、他者との関わりをつくります。授業の中では、制作途中、完成後等に合評会を設けます。自分の作品や在り方についての理解を深めると同時に、他者の作品にも目を向け、味わい共感しましょう。

２　学習の到達目標

- 美術の創造活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞能力を高める。
- 美術についての理解を深め、美術を愛好する心情を育てる。
- 主題を生成し、表現の方法を模索して造形力を身に付ける。
- 美術を通して自分と他者との関わりを大切にする姿勢を育てる。
- 主体的に作品作りや美術鑑賞に取り組み、感性と美意識を磨く。
- 高校美術の締めくくりとして、じっくり時間をかけて納得のいく作品を作り上げる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術を愛好し、美術文化に関心をもち、個性豊かに意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫する。	個性豊かに創造的な表現をするために材料、技法を活用して表現する技能を身に付けている。	心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや美術文化などを理解し、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1ターム 第2ターム	B1パネルの作品の制作	B1デザインパネルによるポスターまたはイラスト作品の制作 人物を画面に入れた制作 ・人物のイラスト、人物写真からキャッチコピーを考え、ポスター制作のための発想を豊かにする。 ・ポスター、イラストのいずれかを選択し、自らテーマを設定し制作する。（卒業制作） ・高校展への出品	○	○	○	○	a:主体的に主題を形成し、形態や色彩などを創意工夫して、意欲的に描こうとしている。 b:対象を観察し、主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d: 友だちの作品のよさや工夫していることについて,自分なりの意見や感想を文章にまとめることができる。	制作の様子 制作途中の作品 作品 学習活動の様子 鑑賞ワークシート
第3ターム 第4ターム	自由制作	自由制作 油絵　Ｆ５０ デザイン　Ｂ１ 彫刻・立体 絵本 ・自分の興味に即した分野で自主的な制作を行い卒業制作とする。	○	○	○	○	a:主体的に発想して作品の構想を練ったり、制作方法を理解し、創意工夫して制作したりしようとしている。 b:感性や想像力を働かせて自然や素材、身近な生活や自己の思いなどから心豊かに発想し、表現の構想を練っている c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。